

# むすび

堀口藍園が1891年にその生涯を閉じてから130年以上が経過していますが、今もなお、渋川郷学の師匠たちの足跡は市内の此処其処に残されています。今回の顕彰展でご紹介したもののほかにも、渋川郷学の師匠たちゆかりのもの、渋川郷学関係の人びとが関わった歴史がもっとたくさんあることでしょう。

令和8年2月20日、渋川市は、新市誕生20周年を迎えます。

新「渋川市」の誕生を記念してつくられた「渋川市の歌『力合わせて』」の作詞者は、3番の歌詞をつくるにあたって、「渋川郷学の師匠たちのことを思い浮かべた」と話してくれました。

## 渋川市の歌「力合わせて」

(3番歌詞)

暮れなずむ 榛名の空に  
夢運ぶ 星は瞬き  
先人の 教えに学び  
明日の日の 良き事想う  
信じ合い 共に生きよう  
今ここに  
文化の気風 築こうよ  
力合わせて

「先人の教えに学び、明日の日の良き事想う」。

渋川郷学の師匠たちは、まさに、明日の日の良きこと、郷土の発展や人びとの幸せを願い、尽力した人物たちでした。

吉田芝溪に始まり堀口藍園が大成したと言われる「渋川郷学」の精神を、渋川に生き、渋川で暮らす私たちの「誇り」かつ「気風」として、次世代へ伝える努力を続けていきたいと思えます。

渋川市教育委員会生涯学習課